

山梨報告

'24. 10. 10

川村 晃生

1. 南アルプストンネル掘削

6月18日、山梨県、静岡県、JR東海の三者が、南アトンネルのボーリング調査とトンネル本体の掘削で合意。川勝知事から鈴木知事に交代した最初の大きな変化。静岡は山梨側に流出した水の返還を求めないことを確認。但し沢の流量の変化によっては、速やかな報告と対応措置が約束されている。

2. 高架橋新工事

7月1日、JR東海は南アルプス市の加賀美高架橋（590m区間）の建設を発表。工期は約75か月（つまり約6年）。

3. 残土の有害物質

早川町内で発生した残土に、六価クロム、セレン、ヒ素、フッ素の基準値を超えたものが一部あったと発表（2022年度実施の調査）。適切に保管したとのこと。（'24.6.27発表）。

4. 移植植物

2021～23年度の調査で、枯死や消失が一部で確認された。（'24.7.11 JR東海発表）エビネ（富士川町）は220個体すべて良好。カンアオイ（同）は160個体のうち107が良好。3年確認したので事後調査は終了。イヌハギ（南アルプス市）は20個体のうち16個体が良好。

5. 中央道境川PAの高架橋工事による直下の土崩れ

中央道を跨ぐ工事で、PAの建物や駐車場の移設などにより、降雨の結果道路下の民有地が大きな損壊を受けた。現地自治会がその始末につき検討中。行政は事実をまだ把握していない模様。



6. アメリカ駐日大使がリニアに試乗

9月5日、エマニュエル駐日大使がリニア実験センターを訪れ、リニアに試乗。鉄道ファンの同氏は「素晴らしい体験だった。この機会を2年半待っていた」と述べ、「導入が決まれば、新たな日米協力の一例となり得る、」と語ったとも言う。

7. リニアについての全国郵送世論調査（山梨日日 '24.8.18）によれば、リニアの早期開業への期待感は乏しいとのこと。「早期開業を期待」が36%、「開業を急がなくてもよい」が56%「建設を取りやめるべき」が10%。また工事に伴う水位低下など、環境への影響については、「懸念している」が67%、「懸念していない」が32%だった。

8. 5月28日に甲府地裁で敗訴判決のあった、南アルプス市民の差止訴訟は東京高裁に控訴。10月21日（月）15時30分より511号法廷で、第1回口頭弁論がある。東京近郊の方には傍聴をお願いしたい。山梨県住民の現況を知ってもらうよい機会でもある。

9. 9月29日（日）に中央市で塩坂邦雄氏の講演があった。31名参加。講演は高架橋がたつ甲府盆地の断層の特質や地質の成り立ちなどで、地下水との関連についても触れられた。リニアを通すのは危険性が大きいことを感じた。